

発行日 2019年2月

発行所 特定非営利活動法人いこま国際交流協会

TEL 090-8237-2463 (夜間のみ)

E-Mail [info@ikoryu.net](mailto:info@ikoryu.net) ホームページ [www.ikoryu.net](http://www.ikoryu.net)



\*\*\*\*\*

## マイサポ事業

### ハロハロ☆デティクラブに

### ご支援ありがとうございます。

\*\*\*\*\*

寒さ厳しい今日この頃ですが会員の皆様はいかがお過ごしですか？日ごろはいこま国際交流協会の活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

本年度も生駒市のマイサポ事業に「ハロハロ☆デティクラブ」を登録し、234人の市民の皆さまによる選択をいただきことができました。ひとえに会員の皆様のご支援のたまものだと深く感謝しております。

ハロハロ☆デティクラブは、外国人市民から出身の文化や自然、言葉や文字などを学び交流する子ども会です。

今年もたくさんの国々出身の外国人市民ゲスの方々にゲストチャーとして来ていただきました。

ミャンマー、ロシア、メキシコ、ブラジル、中国チベット自治区、韓国、コートジボアール、アルメニア出身の皆さんから楽しく興味深い外国のお話

をお聞きすることができました。子どもたちもチャングなどの楽器演奏を楽しんだり、ミャンマーやメキシコのダンスを踊ったり、ブラジルやロシア、メキシコなどの遊びを楽しんだりすることができました。

\*\*\*\*\*

## ハロハロ☆ikoryu

### コリア dayを開催しました

\*\*\*\*\*

9月2日(日)にハロハロ☆ikoryu コリア day を開催しました。講師は奈良在日外国人保護者の会生駒のみなさんでした。「キンパ」「チヂミ」「ワカメスープ」を作りました。

今日の夕飯にすぐに作ることができるおいしくお手軽な韓国料理です。子どもたちも楽しく料理を作

りながら楽しく交流することができました。

皆さんもぜひお家でも作ってみてください。

レシピはいこま交流協会のホームページ

に掲載しています。



## ハロハロ☆ikoryu☆ロシア dayのお知らせ

体も心も温まるロシアの家庭料理を作って交流しましょう

日時：2019年3月17日(日) 場所：たけまるホール 調理室

講師：植田アナさん 持ち物：エプロン・三角巾・ふきん

参加費：800円 小学生～中学生200円 幼児無料

参加申し込み：[entry@ikoryu.net](mailto:entry@ikoryu.net) または、葉書：〒630-0257 生駒市元町1-7-6 市民活動推進

センターららポート気付 いこま国際交流協会

名前・連絡先 参加人数 学年を書いて申し込みをお願いいたします。3月11日(月)まで

# 2018年度 第17回 国際交流ひろば わいわいワールド開催

11月3日（日）今年も恒例のわいわいワールドを開催しました。本年度は、9ヶ国外国人ゲストティーチャーをお招きし、子どもたちと楽しい国際交流の時間を過ごすことができました。今年のテーマは、「世界の文字で名前を書こう」でした。ゲストティーチャーの国の文字で自分の名前を書いたり自分自身で名前を書いてみたり、様々な国の遊びや服装、文化に触れたりして充実した時間を過ごすことができました。

## オープニング



メキシコ

アメリカ



コートジボアール



ミャンマー



インドネシア



ロシア



韓国



ブラジル



中国



ミャンマーの踊り

## わいわいワールドに参加して

ダニエル・セラノ

わたしは、教員研究生として、2019年3月まで奈良教育大学で学んでいます。ブラジルでは、私立と公立の高校で、ポルトガル語を教えていました。

2018年11月に、ゲストティーチャーのひとりとして、わいわいワールドに参加して本当に嬉しかったです。参加した子どもたちに、ブラジルについての話ができたり、伝統的な遊びと一緒にやったりすることができてよかったです。子どもたちもとても元気で、興味深い質問をしてくれました。スタッフも優しく支援してくれました。また、いろいろな国の人と会って、交流して、非常に勉強になりました。多文化教育の研究者として、こんな行事を行うのはとても大事だと思います。3月に帰国するので、今年参加できなくて残念ですが、ブラジルでもこのようなイベントをしたいと思っています！

4ヶ国のブースを回って体験した後は、世界のおやつを食べたり、様々な国の遊びを体験しました。最後に市民ホールいっぱいの大きな輪になってミャンマーの踊りをみんなでおどりました。

\*\*\*\*\*

# だい かい おんがくさいかいさい 第12回Ikoryu音楽祭開催しました

\*\*\*\*\*

12月2日(日)毎年恒例の ikoryu 音楽祭を開催しました。音楽祭も今年で12回を数えることになりました。今年は、例年と少し趣向を変えて音楽発表の後、民族音楽を体験する時間を作りました。お琴、韓国舞踊、アンクルン、チリのダンス、竹笛づくりの5つのコーナーでそれぞれ楽器演奏やダンス、工作を楽しみました

しかい ていしん  
司会の丁秦さん



なかせきかい  
中扇喜会の  
みな  
皆さんによる  
こと えんそう  
お琴の演奏

日韓交流舞踊団  
ハンサモによる  
韓国舞踊



NAISTER'S の  
アンクルン  
えんそう  
演奏



ナムハンの  
はくりよく  
迫力あるサムルノリの演奏



ひらいみえ  
牧井美江さんによる  
フルートの演奏



NATY さんの  
イースター島のダンス

## 民族音楽体験コーナー

いこま自然塾の  
みな  
皆さんに  
たけぶえ  
竹笛づくりを  
おし  
教えていただきました



こと  
お琴の  
えんそうたいけん  
演奏体験

かんこくぶようたいけん  
韓国舞踊体験



インドネシアの  
がっき  
楽器アンクルン  
えんそうたいけん  
演奏体験

だいせいきょう  
エスニックバザーも大盛況でした



\*\*\*\*\*

# 生駒市みんなで創る音楽祭

じんるいむけいぶんかいさん

## ユネスコ人類無形文化遺産

かんこくでんとうぶんかこうえん

## 韓国伝統文化公演

### 歴史の風 開催！！

\*\*\*\*\*

韓国伝統文化公演「歴史の風」(生駒市主催)が12月21日、生駒市たけまるホール大ホールで開かれました。韓国民団生駒が市から委託を受け、ikoryuも後援団体として参加、多くの市民団体と共に実行委員会を構成し準備を進めてきました。その結果、年末の週末の夜にも関わらず、市内各地から600名の観客が集まり大盛況でした。

「歴史の風公演」3回目の今回は、韓国国立国楽院文化研究院などから伝統舞踊の伝授者・履修者14人が来日。處容舞、カンガンスルレ、農楽など韓国のユネスコ人類無形文化遺産登録の演目を中心に披露されました。さらに、日韓市民連携「ハンサモ(韓愛会)」や「生駒山麓太鼓」が特別友情出演し、日韓太鼓競演にはひととき大きな拍手が送られました。

小紫雅史市長も「韓日間が厳しい状況の時だからこそ民間交流、文化交流、市民交流が重要だ」と語られ、出演者の生駒市民宅へのホームステイや韓日太鼓の共演といった民間交流の企画に対しても高い評価が寄せられました。



多文化共生・国際都市「いこま」をめざして  
生駒市外国人登録者数 64 カ国 1,206 人  
(2019. 1. 31 現在)

ikoryu会員随時募集中！

- 正会員 個人 1口 3,000円 (年会費)  
団体 1口 10,000円 (年会費)
- 賛助会員 1口 1,000円 (年会費)
- 会費納付先 郵便振替 00940-0-192898

加入者名 いこま国際交流協会

会員になると ikoryu主催の催しの参加費が無料または割引になります。

## にほんごがっこうじじょう スイスの日本語学校事情

しぶや まき樹  
渋谷 真樹

スイスでは、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語の4つが公用語です。学校では、独・仏・英語を学ぶことが多く、バイリンガル、トリリンガルは珍しくありません。お父さまが日本人で、スイスに生まれ育ったタレントの春香クリスティーンさんも、4カ国語を操るようです。

そんなスイスには、国際結婚や仕事でスイスに住む日本人の親達がつくった日本語の教室や学校が複数あります。近い将来日本に住む予定のない子ども達が日本語を続けるためには、親の信念が大切です。親や祖父母とのコミュニケーションや日本人としてのアイデンティティのために、日本語で育てる親が多いようです。

マンガやドラマ、ゲームを日本語で楽しんだり、日本の友だちと交流したりすることも、子どものモチベーションをあげます。

スイス人の家族や親戚の協力や、クラスメートや担任の励ましも欠かせません。さらに、スイスには、多言語は社会の宝だという考えがあり、行政が母語教育を支援していることも大きな後押しになっています。



## ikoryu当面の予定

5月	11日	土	ハロハロ☆デティクラブ
6月	8日	土	ハロハロ☆デティクラブ
7月	13日	土	ハロハロ☆デティクラブ Ikoryu 第13回総会

### <つれづれトーク>

最近ニュースで、韓国の裁判結果での徴用工問題や議長発言問題での報道で日韓政府レベルでは日韓関係が冷え込んでいるように思います。一方で中高生の間では韓流ブームがきています。日韓の関係を深めるのは市民パワーだという思いをさらに感じる今日この頃です。